



アナスタシアさん
(24歳・本市へ避難)

戦争が始まり、私は日本に、母はスペインに避難しました。伯母は兵士としてウクライナに残り、今も戦場の中にいます。一度、伯母との連絡が途絶え、戦死したのではないかと不安になりました。大学時代の親友と伯父はこの戦争で亡くなりました。家族と離れ離れになり、友人を失ったことで、家族・友人の大切さを実感しました。この悲惨な戦争が一日でも早く終わることを心から祈っています。



イリーナさん
(24歳・本市へ避難)

戦争が始まった時、私は首都キーウにいました。ミサイルが街に撃ち込まれる光景を目の当たりにして、「期待していた明るい未来」はなくなると感じました。街では毎日サイレンが鳴り、地下シェルターに隠れる生活を1カ月ほど続けました。その後、日本に避難することができ、日本の皆さんに温かい支援をいただいたことに感謝しています。今も戦争は続いています。少しでも母国の力になりたいと、日本で英会話教室と工場に勤務をし、ウクライナへ送金をしています。

家族の大切さに気付いた

当たり前の平和が突然なくなった

行田市ではウクライナから避難される方を支援しています

市では、ウクライナ避難民支援総合対応窓口を設置し、避難に関する相談や福祉・行政サービスの手続き支援をはじめ、市営住宅の入居支援や日用品の提供などを行っています。



ウクライナ人道危機救援金を受け付けています

ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの人々が緊張と不安の中で過ごしています。この状況を受け、救援活動を支援するため、救援金を受け付けています。

寄せられた救援金は日本赤十字社埼玉県支部に送金し、現地や周辺国などでの救援活動に役立てさせていただきます。皆様のご協力をお願いします。

▶設置場所 市役所案内、総合福祉会館「やすらぎの里」



行田市遺族会代表インタビュー



杉山 義成さん(82歳)

行田市遺族会では、英霊顕彰や戦没者遺族の福祉増進に関する事業などを行っています。近年は、戦争の語り部事業に力を入れ、若い世代へ戦争の悲惨さについて実体験を交えながら伝えています。

若い世代へ

戦争の悲惨さを伝える

私が生まれた昭和16年は、日本海軍がアメリカ太平洋艦隊へ総攻撃をかけ(真珠湾攻撃)太平洋戦争が起きた年で、まさに戦争真っただ中でした。そして敗戦を迎える昭和20年、私は当時4歳でしたが、住んでいた須加の上空をアメリカ軍の戦闘機が爆弾を積んで飛行していたことや、熊谷空襲で熊谷市方面の空が赤く染まり、日本軍の戦闘機が何機も墜落した光景を今でも覚えています。子どもながらも明日には日本は無くなってしまわないかと思っていました。父は、昭和19年6月に満州へ出兵し、翌年の第二次大戦終戦後、シベリアに抑留され、昭和21年に

現地で病死しました。戦時中だけでなく、戦後数年間はとにかく貧乏で、また一家の大黒柱もいないため、生活には苦労しました。食べ物もわずかしかならぬ中で、何とかして生きていかなければならない。進路も制限され、先が見えず、希望が持てない、あの時代には戻りたくないと思えます。戦争は勝っても負けても良いこととはありません。憎しみや悲しみが残り、積み上げた財産も無くなります。未来を担う若い世代の方が、戦争の悲惨さを知り、平和な日常の大切さに気付く、二度と戦争を起こしてはいけないと感じていただきたいです。

平和展へ行こう



平和への願いを込めて、戦争の悲惨さを物語る貴重な資料を展示します。

第1会場(資料展示)

▶日時 8月10日(木)~22日(火)
午前9時~午後9時30分※
12日(土)・16日(水)を除く

▶場所 コミュニティセンター
みずしろ1階ギャラリー

第2会場(資料展示)

▶期間 8月7日(月)~17日(木)
▶場所 市役所正面玄関ロビー



戦争体験談および写真や物品を募集しています

4ページで紹介している「戦争記録集」の作成のため、自身の戦争体験を話すことができる方や戦争に関する物品などを募集しています。ご協力いただける場合は地域活動推進課までご連絡ください。

▶問い合わせ 同課(内線252)

埼玉ピースミュージアム(埼玉県平和資料館)で戦争と平和を学ぼう



埼玉ピースミュージアムは、平和に対する意識の高揚を図り、平和な社会の発展に寄与することを目的に、平成5年8月に開館しました。戦争と平和に関する常設展示や企画展示をはじめ、映画会などさまざまな普及事業を実施しています。

▶所在地 東松山市岩殿241-113

▶開館時間 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)※月曜日は休館

▶問い合わせ 同ミュージアム ☎
0493-35-4111



▲アオギリ

原爆被害者に勇気を与え平和の象徴となった『被爆アオギリ』の種から育てたアオギリが「みらい」敷地内(図書館南側)に植えられています。



▲行田市英霊塔

戦争で尊い命を失った市内戦没者を祀る英霊塔が、水城公園東側園地に建立されています。



◀戦争体験記・戦争記録集

本市では、戦争の記憶を風化させないため、戦争体験談や戦時中の写真などをまとめた冊子を発行しています。これらは、図書館や市内の小・中学校などに配架しています。



市内に残る戦争・平和の足跡